

令和元年度八千代市生涯学習審議会 会議録

開催日時 令和2年2月3日(月) 午前10時開会

開催場所 八千代市教育委員会庁舎 2階 大会議室

議 題 (1) 第2期生涯学習推進計画に係る進捗状況調査の報告について
(2) その他

出席者名

出席委員	上條 秀元	委員(市民)
	小石川 秋三	委員(市民)
	小林 詔三	委員(市民)
	小山田 育子	委員(関係団体の代表者)
	小出 正雄	委員(関係団体の代表者)
	岡 俊博	委員(関係団体の代表者)
	外山 濟貞	委員(関係団体の代表者)
	豊田 正昭	委員(関係団体の代表者)

事務局

	林 雅也	(教育次長)
	蕨 茂美	(教育委員会参事)
	春田 泰宏	(文化・スポーツ課長)
	伊藤 幸司	(生涯学習振興課主幹)
	徳尾 美佳	(大和田図書館長)
	仲村 美奈子	(八千代台東南公民館長)
	渡邊 修宏	(生涯学習振興課副主幹)
	高崎 菜穂	(生涯学習振興課主任主事)
	内田 颯一	(生涯学習振興課主事)

公開・非公開の別 公開

傍聴者 なし(定員5名)

所管課名 教育委員会生涯学習振興課

電話番号 047(481)0309

【事務局（生涯学習振興課 高崎主任主事）】

皆様、おはようございます。会議に先立ちまして、お手元の資料の確認をさせていただきます。

〔資料確認〕

【事務局（生涯学習振興課 高崎主任主事）】

それでは定刻となりましたので、令和元年度八千代市生涯学習審議会を始めさせていただきます。

本日は、ご多用のところ、ご出席いただき誠にありがとうございます。

本会議は、公開の会議であり、本日の傍聴者はありません。

また、会議録作成のため、会議内容を録音させていただきますのでご了承ください。

それでは、八千代市生涯学習審議会条例第5条第1項の規定により、会議の議長は会長が務めることになっておりますが、長岡会長が体調不良のため、本日欠席されております。

同条例第4条第3項の規定により、副会長は、会長が欠けたときは、その職務を代理することとなっていることから、会議の議長を副会長の小出委員にお願いしたいと思います。小出委員、よろしくお願いたします。

【小出副会長】

おはようございます。副会長の小出です。本日、会長が欠席のため、代理をさせていただきます。皆様にご協力いただきながら、会議を進行してまいりたいと思いますので、よろしくお願いたします。

本日の出席委員は、8名です。八千代市生涯学習審議会条例第5条第2項の規定による定足数に達しておりますので、会議が成立しました。

それでは、次第に沿って、進めさせていただきます。

次第「2 委員及び事務局紹介」ですが、1名の新しい委員がおりますので、ご紹介します。八千代市校長会代表で出席いただいていた保坂委員が退任され、後任として、大和田西小学校長の岡 俊博 委員にご出席いただいております。

岡委員、一言ごあいさつお願いします。

【岡委員】

おはようございます。大和田西小学校長の岡と申します。校長会の代表として出席をさせていただきます。学校教育の立場で、八千代市の子どもたちの教育を担っているところではありますが、子ども以外に、当たり前のことですが、市民全体の生涯学習ということで、学校教育の立場を視点に入れつつ、お話を聞かせていただいて、意見を述

べさせていただきますと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

【小出副会長】

岡委員，ありがとうございました。

また，人事異動により事務局の職員に変更があったとのことですので，事務局お願いします。

【事務局（林教育次長）】

はい。皆さん，おはようございます。教育次長の林と申します。どうぞよろしくお願いいたします。本市におきましては，昨年4月に組織改正が行われまして，昨年度までは生涯学習を司る部門としまして，市長部局の中に生涯学習部という部を置いて事務を執行しておりました。こちらの方が昨年の4月，組織改正に合わせまして，教育委員会の中に統合されることとなりました。家庭教育から学校教育，社会教育と教育の一つの体制となりまして，一層生涯学習につきましても推進してまいりたいと考えております。

それでは，私の方から事務局の紹介をさせていただきます。

[事務局職員紹介]

【小出副会長】

ありがとうございました。

それでは，次第「3 議事」に入りたいと思います。

議題「(1)第2期生涯学習推進計画に係る進捗状況調査結果の報告について」事務局から説明をお願いします。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

はい。それでは，私の方から説明させていただきます。

皆様に配付いたしました資料のうち，A3サイズの「第2期生涯学習推進計画に係る取組項目の進捗状況調査結果をご覧ください。

本調査は，平成28年度から平成32年度（令和2年度）までを計画期間とする「第2期生涯学習推進計画」に基づき，生涯学習施策として取り組む52項目につきまして，平成30年度の計画に対する実施内容と実施状況の評価，並びにその理由と今後の対応を，また，指標を設定している取り組みは平成30年度の指標実績値も含め，令和元年6月に，推進部署（担当課）へ調査したものです。このA3サイズの配付資料は，担当課である市長部局12課，教育委員会3課，消防本部3課，合計18課からの回答を取りまとめた一覧となっております。

まず，平成30年度の評価について，ご説明いたします。

一覧表の右側の中央付近にあります。「平成30年度調査結果」の実施状況の欄をご覧ください。平成30年度における取組の実施状況を「A 計画どおり実施した」「B 計画の一部を実施した」「C 実施できなかった」「D その他」として評価しております。

52の取組項目に関する評価は、「A」とした取組が43、「B」とした取組が9となっており、「C」「D」の評価はございませんでした。

「A 計画どおり実施した」と評価された取組につきましては、個々の説明を省略させていただきますが、計画どおり実施したものであっても、指標実績値が目標値（平成32年度末（令和2年度末））に達していない取組や、改善の余地のある取組もございますので、取組の更なる推進を図るための対応をその右側に記載しております。

次に、「B 計画の一部を実施した」と評価された9つの取組について、ご説明いたします。

資料のA4サイズの「第2期生涯学習推進計画に係る取組項目の進捗状況調査結果（平成30年度分まとめ）」の(1)にも、B評価の9つの取組を抜粋しておりますので、併せてご覧ください。

まず、「No.1-1-8-9 八千代台東南公共センター主催事業の実施」につきまして、A3サイズの資料では2ページ目の1段目、またA4サイズのまとめでは、1ページの1段目となります。取組の概要といたしましては、「施設の特長を生かした事業を実施し、市民のコミュニティ活動の推進、教養の向上および社会教育の振興を図る」ものです。平成30年度は、3事業の実施を目標にしておりましたが、2事業に留まり、目標とする事業数に達することができなかったため、B評価としております。今後は施設の特徴を生かした事業の実施を検討し、内容の充実を図ることとしております。

「No.1-1-18-20 ごみの減量化・リサイクル推進等の啓発事業の実施」につきましては、A3サイズの資料では、3ページ目の下から3段目、A4サイズのまとめでは1ページの上から2段目になります。取組の概要といたしましては、「ごみの排出抑制や、減量化、再資源化を啓発するごみ減量学習会やまちづくりふれあい講座、リサイクルフェアを実施する」ものです。平成30年度は、ごみ減量学習会を自治会などに対し実施するとともに、小学校への出前講座を実施、また、リサイクルフェアも開催しましたが、実績値が計画策定時の現況値を下回っている部分もあるため、B評価としております。今後につきましては、市ホームページへの開催実績の掲載や定期開催する減量推進員研修会等において周知し、ごみの減量化やリサイクルの推進に努めることとしております。

「No.1-1-22-26 身近な消防啓発の充実」につきましては、A3サイズの資料では、4ページ目の上から4段目、A4サイズのまとめでは1ページの上から3段目になります。取組の概要といたしましては、「市民訓練施設の消火・煙中避難体験などを通じて、防火意識の醸成啓発に努める」ものです。平成30年度は、自治会や自主防災組織など、申込者全員に消化体験や煙中避難体験施設を利用した体験型訓練を実施しましたが、前年度に比べ体験型訓練の申込数が減少したことで、目標値に届かなかったため、B評価としており

ます。今後につきましても、できるだけ多くの市民に利用してもらうことにより、防火意識の醸成啓発に努めます。

「No.1-1-23-27 救命技術教育の推進」につきましては、A3サイズの資料では、4ページ目の上から5段目、A4サイズのまとめでは1ページの下から2段目になります。取組の概要といたしましては、「市内中学校（全13校）を対象に、心肺蘇生法及びAEDの取扱いなどの救命体験（90分）を実施し、他者の命を救える知識と救命技術の習得を推進する」ものです。こちらは、市内すべての中学校で救命体験を実施することができましたが、平成29年度から計画に含めた小学校高学年に対しては、約半数の救命体験の実施となったため、B評価としております。今後につきましては、引き続き、救命に係る知識と技術の習得を推進するため、全小中学校に協力を呼び掛け、すべての学校での実施を目指す予定としております。

「No.2-2-2-29 公民館まつりの開催」につきましては、A3サイズの資料では、4ページ目の下から3段目、A4サイズのまとめでは1ページの一番下の段になります。取組の概要といたしましては、「サークルの学習成果の発表の場として、公民館まつりを開催し、地域との交流や生涯学習の啓発を行う」ものです。平成30年度につきましては、市内9公民館で公民館サークルを主体として、昨年同様、公民館まつりを開催しましたが、来場者数が減少したため、B評価としております。今後につきましては、引き続き公民館まつりを開催し、更なる地域との交流や生涯学習の啓発を共に行い来場者数の増加を目指しております。

「No.2-2-6-33 放課後子ども教室の推進」につきましては、A3サイズの資料では、5ページ目の上から2段目、A4サイズのまとめでは2ページの上から1段目になります。取組の概要といたしましては、「放課後や週末等に、小学校の余裕教室を活用し、子どもたちが安全に安心して活動できる居場所を確保するため、地域住民の参画を得て、子どもたちがスポーツや文化活動、地域住民と交流できる場として放課後子ども教室を小学校に学校型として順次開設し、実施するとともに、既存の新川わくわくプレーパークを校外型として併せて実施する」ものです。平成30年度につきましては、学校型の放課後子ども教室を、村上北小学校、八千代台西小学校、西高津小学校及び勝田台南小学校で124日間、米本小学校で64日間開催しましたが、校外型の新川わくわくプレーパークが、県立八千代広域公園の整備進捗により平成28年8月末をもって事業を終了したため、B評価としております。今後につきましては、学校型の放課後子ども教室を市内7地域に1校ずつの開設を目指しております。

「No.2-4-3-41 生涯学習ボランティアの活用の推進」につきましては、A3サイズの資料では、5ページ目の一番下の段、A4サイズのまとめでは2ページの上から2段目になります。取組の概要といたしましては、「教えたいたい人と学びたい人をつなぐ「公民館ボランティア講師制度」の内容を充実させるとともに、市民の積極的な活用を推進する」ものです。平成30年度につきましては、新規で1名の講師登録がありましたが、市民からの利

用申請がなかったこと、また更新にあたり、辞退者が多く、講師登録者数が減少したことから、B評価としております。今後につきましては、ボランティア講師の活用促進と周知方法を見直す検討を図ることとしております。

「No.3-5-1-46 生涯学習情報提供システムの充実」につきましては、A3サイズの資料では、6ページ目の上から5段目、A4サイズのまとめでは2ページの上から3段目になります。取組の概要といたしましては、「生涯学習情報提供システム「まなびネットやちよ」の情報を充実させ、様々な情報の需要に応える」ものです。平成30年度につきましては、「講座・教室」、「団体・サークル」及び「指導者」に係る情報を更新し、掲載内容の充実に努めましたが、指標となる「生涯学習情報提供システムへのアクセス件数」が低調であったことから、B評価としております。今後につきましても同システムに掲載する情報を充実させるとともに、機能等の改善に努めることとしております。

「No.3-6-1-53 生涯学習関係施設の整備・改善」につきましては、A3サイズの資料では、7ページ目の上から3段目、A4サイズのまとめでは2ページの一番下の段になります。取組の概要といたしましては、「生涯学習関係施設をより利用しやすくするために、必要な改善を行います。また、施設の使用料、利用区分等の見直しを行うなど、有効活用の検討を進める」ものです。平成30年度につきましては、大和田公民館・大和田図書館の老朽化対策として、両館複合の仮設施設の整備を決定し、緊急性の高い施設の改善に努めましたが、施設の利用条件に関しては、公民館等施設利用の有料化の使用料設定に向けた課題の整理に時間を要したことから、平成30年度を「協議・検討」とし、「方針決定」を平成31年度に繰り延べたため、B評価としております。今後につきましては、施設の修繕・改善を実施し、生涯学習を行う環境の維持・向上を図ってまいります。また、公民館等施設利用の有料化については、関係部局などと調整を行い、平成31年度に方針を決定する予定です。

以上が、「B 計画の一部を実施した」と評価された9つの取組となります。これらの取組に関しましては、千葉県への借地返還などによる致しかたないものも含まれておりますが、事務局といたしましても、改善が図られているのか担当課へ引き続き注視しているところでございます。

なお、平成31年4月1日付け組織改正に伴い、推進部署の変更がございました。

A4サイズのまとめの3ページをご覧ください。

「(2)特記事項」といたしまして、「推進部署」の変更について記載をさせていただきました。13の取組項目について、担当課及び関係課の所管部署名を変更しております。変更内容は3ページから6ページまでに記載のとおりとなっております。

以上が第2期生涯学習推進計画に係る進捗状況調査結果の報告となります。

先ほども触れましたが、「No.3-6-1-53 生涯学習関係施設の整備・改善」につきまして、追加でのご報告がございましたので、この場で報告させていただきます。

公民館施設利用の有料化に関する方針についてのご報告をいたします。

平成23年3月策定の「八千代市第2次行財政改革大綱」に基づき、平成28年度から平

成32年度までの具体的な取り組みを定めた「八千代市第2次行財政改革大綱後期推進計画」におきまして、「公民館施設利用の有料化」を掲げるとともに、公共施設等の一体的なマネジメントの方針をまとめた「八千代市公共施設等総合管理計画」の実施計画にあたる「八千代市公共施設等総合管理計画アクションプラン」におきましても、施設利用料が無料である施設のうち、有料化について先行して検討する施設として公民館を選定し、今年度の方針を決定する計画で、公民館施設利用のあり方、施設使用料の有料化について検討を進めてまいりました。

方針につきましては、資料1にご提示しております。

本市には公民館が9館設置しており、地域における重要な社会教育施設となっています。

しかし、公民館の利用については減少傾向にあり、10年前の平成20年度の利用と比較しますと利用件数で約千件、利用者数で約5万人の減少となっており、施設の有効活用と利用の拡大が課題となっております。

公民館の利用者数が減少している中で、公民館の施設使用を有料化した場合、更に利用者の減少を招き、地域住民の学習活動等の衰退につながる懸念されます。

本市では、緑が丘公民館集会ホールが、市内の文化センターなどと同等の施設及び設備を有しており、利用目的も類似することから施設間の公平性を保つため、使用料を徴収している状況にあります。前述のような状況を踏まえ、その他の公民館施設につきましては、施設の有料化を当面実施せずに、市民の学習活動の支援に重点を置き、生涯学習の充実を図るとともに、利用者の増加を目指していくという方針を決定いたしました。

但し、将来に向けた持続可能な公民館運営のためには、施設の有料化は今後も検討していく必要があり、施設の修繕・更新計画を定めた整備方針や指定管理者制度の導入など施設にかかるコストの削減策などを示すとともに、地域住民の理解を得て、公民館の財政的基盤の強化などを図っていきたいと考えております。

続きまして、資料2をご覧ください。

八千代市立大和田図書館及び八千代市立大和田公民館複合仮設施設の建設工事についてご報告いたします。

大和田図書館敷地内に仮設施設建設を進めておりましたが、令和元年10月1日に両施設の供用を開始しております。

仮設施設はリース方式での調達で、賃貸借期間は5年間でございます。建物の構造及び規模は、鉄骨造平屋建で面積は約600㎡でございます。大和田公民館部分の面積は約240㎡で、会議・講習室、小会議室、調理実習室、和室、給湯室、事務室などとなっております。大和田図書館部分の面積は約240㎡で、閲覧スペース・学習スペースを含む一般室、事務室などとなっております。共用部分の面積は約120㎡で、ホール、男女別トイレ、多目的トイレなどとなっております。

また、移設に伴う引っ越し作業などのため、9月の約1カ月間を、両施設とも臨時休館といたしました。

以上でございます。

【小出副会長】

ありがとうございます。ただいま、事務局から説明がありました。

まず、あらかじめ事務局へ確認しておきますが、委員の皆様から事前に「質問表」は提出されているか、お知らせください。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

質問ではありませんが、上條委員からご提案をいただいております。

「資料3 第2期生涯学習推進計画進捗状況調査結果について（提案）」が上條委員からのご提案でございます。

ご提案内容と事務局の見解について説明いたします。

まず、現在のフレーム変更について、「調査結果」のフレームに「基本目標」を追加するという提案につきましては、各事業の位置づけが分かりやすくなりますので、今後追加させていただきます。

次に「指標」を「推進目標」に変更することについて、「量的評価」だけでなく、「質的な評価」も重要で、「指標」の表現を変更し、①運営面での改善、②教育（学習）目標の達成状況、③事業の量的拡大という3つの視点から、関係する目標を簡潔に記入するという提案につきましては、八千代市の場合、質・量ともに上位の計画である総合計画では「指標」と表現していることから、本計画も準ずることにしております。

続いて「H30年度調査結果」を「H30年度の進捗状況」に変更すること等の提案につきましては、次期推進計画の報告時に参考とさせていただきます。

続きまして、2ページ目、記載内容について、報告年度の計画（今回の場合ですと、H30年度計画）と、次年度計画（今回の場合ですと、令和元年度の計画）が、ほとんどの取組で同じ記載内容となっているので、変更した場合に分かるような記述を考えるという提案につきましては、今後、変更部分を太字表記や抜き出し表記等で対応することを検討してまいります。

続いて「H30年度計画」・「実施内容」の記載についてです。一つ目として「年度計画」・「実施内容」に調査等を行うこと・行ったことが記載されている取組において、「実施内容」に調査等の目的や対象を簡潔に記入するという提案につきましては、次回から記入するようにいたします。二つ目、主要な社会教育施設の一つである公民館の記載内容が踏み込み不足であり、公民館PRのためにも、もっと具体的に記入するという提案につきましては、ご提案いただいたことを考慮し、次回に反映させていただきます。

最後に、記載方法について、資料の中の長い文章は、箇条書きにするなど、できるだけ読みやすくするという提案につきましては、ご提案いただきましたことを考慮し、次回から読みやすい資料作成を行ってまいります。

以上、上條委員からのご提案と事務局の見解でございます。

【小出副会長】

ありがとうございました。

それでは、本日の説明を聞いて、委員の皆様からご質問等はございますか。

【小出副会長】

はい。上條委員。

【上條委員】

この度、事前に質問事項を求められたのですが、提案もさせていただき、失礼しました。それに対して、誠実に対応してくださり、ありがとうございます。

一つ気になりますことは、1の『(2)「指標」の項目を「推進目標」に変更すること』についてです。表現をどうするかは別として、八千代市の総合計画に準じたフレームになっているということですが、総合計画では量的な面を重視しております。しかし、社会教育・生涯学習においては、質的な面も大変重要であると思います。そこで、全体の枠組みを残した場合でも、「①運営面での改善」、「②教育（学習）目標の達成状況」、「③事業の量的拡大」という3つの指標の中で、例えば②の「教育（学習）目標の達成状況」ですとか、①の「運営面での改善」などの面も意識して記入していただくように、各関係部局に指示をされること提案いたします。

【小出副会長】

ありがとうございました。

はい。蕨参事。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

ご提案ありがとうございます。

事務局の方で検討いたしまして、進めさせていただきたいと思います。

【小出副会長】

他にご意見はございませんか。

はい。小林委員。

【小林委員】

今日のご説明された内容以外でもよろしいですか。

【小出副会長】

はい。

【小林委員】

事前の質問のときは気が付かなかったのですが、今申し上げますが、このA3サイズの資料の説明項目の中で、一番最後から2つ目、「No.3-6-2-54 郷土博物館展示事業」の右端のところに令和元年度計画、「常設展のリニューアルを検討・計画するなど、郷土博物館の展示を充実する」と書いてあります。ちょっとこの件で提案をしたいのですが、よろしいでしょうか。

大変素晴らしい施設で、内容も充実していると思うので、リニューアルされてますます市民の人気を博してもらいたいなど、そういう趣旨からなのですが、一つのコンセプトとして、八千代市と鉄の関係というテーマでのリニューアル展示を検討していただけないかなと。なぜそんなことなのかと言いますと、先日村上駅前で、「たたら祭」というお祭りがありまして、それにたまたま参加したのですが、内容は古代の製鉄方式による、いわゆる砂鉄から鉄を作るという実演とか西洋鍛冶、和鍛冶など、鍛冶の実演とかいったものを行っておいりました。たくさんの市民の方が見えて、また子どもたちも非常に喜んで、参加していたという光景を目にしました。そのテーマの中で村上近隣の黒沢池近隣公園というところへ案内をしてもらいましてそこに昔の製鉄の遺跡があったという説明を受けました。ちょうど東葉高速鉄道が、トンネルに入るところに位置している公園なのですが、公園に行っても跡形も何もないので、話を聞いただけではわからない。説明をしている方に、確かにここに遺跡があったのですかと聞くと、間違いなくありましたと、今千葉県教育庁の文化財課森宮分室に八千代市の製鉄遺跡の跡やそこで発掘された鉄くずなどが保管されているということらしいのです。

その県庁の文化財課の森宮分室の方が、いつまでもここに持っているのも大変だからできれば八千代市に引き取ってほしいと言ったということらしいのですね。説明をしている方からそういった話を聞いたのですが、八千代市にそういう由緒ある遺跡があって、しかも県の方で保管してくれているということならば、この郷土博物館の常設展のリニューアル計画の中に展示していただく、というようなことも検討していただけたらどうであろうかと。具体的には、お金もかかるし、やり方も難しくて大変だと思うのですが、たまたま「たたら祭」で見たたくさんの市民が参加して、子どもたちが、喜んで実演に参加していた光景が頭にありまして、ぜひ検討していただければということの提案でございます。市民の希望するテーマを展示するというのも意味あるものと思います。以上です。

【小出副会長】

事務局、説明をお願いします。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

はい。私の方からご提案いただきましたことについて、補足説明も含めて少しお話をさせていただきたいと思います。私、今生涯学習振興課長を兼務しておりますが、文化財担当の参事でございます。そして私、入所してから約20年近く遺跡の調査を文化財班の方で行っておりましたので、その遺跡についても知っております。東葉高速線の工事をするにあたって県が発掘した遺跡のところから竪穴住居跡の中に製鉄跡、鍛冶遺構ですね、そういったものがでてきた遺跡でございます。発掘された当時は、建設前ですから今から3、40年前の話になるのでございますが、その頃ですと日本全国での遺跡の発掘の件数も少なく、製鉄遺跡もかなり貴重なものであったのでございますが、その後、日本全国で、急激に遺跡の調査数が増えたということもございまして、正直言いますと、県の報告書の中では、発掘された当時は日本最古の方に入るのはないかと、古墳時代から弥生時代、古墳時代だとは思いますが、その辺りになるのではないかと書かれていたのですが、その後続々と新例が出てきてしまって、残念ながら、日本最古というのはもう弥生時代後期の製鉄遺跡が西日本各地からいろいろ出てきてしまっている状態です。そこは残念なのですが、確かに製鉄遺構、大事な遺構があるということは、認識しております。

その遺物なのですが、おっしゃる通り県の方で、お預かりいただいておりますが、ただいま県のところから一つの遺跡だけを交渉してもらってくるというのはなかなか、県の方も置き場所に困っている状況もございますので、市内で掘りました遺跡、住宅地開発から鉄道建設までのものですね、相当量の天箱に所蔵された土器等が県の倉庫にあります。

それをどのように県から市に移管していくか、方法については、長年の課題になっているのでございますが、八千代市としても、一遍に返されても置き場所がないというのが正直なところでございますので、県の担当者とも話をしながら、進めてまいりたいと考えております。

郷土博物館の展示のリニューアルにつきましては、今日は館長が同席しておりませんが、私の方から館長と話をしまして、そういったご提案もありましたと、ぜひ検討していきましょうという話を個々にさせていただきたいと思いますので、結果的には残念ながら毎年先送りになってしまっており、はっきりしたことは申し上げられませんが、前向きに検討してまいりたいと思います。よろしく願いいたします。

【小林委員】

ありがとうございます。そのような過去の経緯があるとは知らず、私はスポット的な感覚で申し上げてしまい申し訳ないのですが、一つよろしく願いいたします。

【小石川委員】

ちょっといいですか。

【小出副会長】

はい。小石川委員。

【小石川委員】

今日ご説明があったA4の資料の「B 計画の一部を実施した」について感じたことを言いますと、こういう計画というのは、実際やりはじめて、いろんな問題が出てきて、もともとの計画通りにいかないということが多いわけですが、それを達成するためには、原因の分析だとか、実際どういうことが起きているかということをしっかり把握することが大事だと思うのですね。今日はA3の資料にしてもA4の資料にしても限られたスペースですから、詳細な説明はされていないので、私のような疑問が出るのですが。

簡単に感じたことを言いますと、A4の資料で上から2段目の「ごみの減量化」ですね、これをBにした理由が右端に書かれていますが、これはこういう理由なのですが、本質のところは何かということですね。希望があった団体に出向き開催したために、小学校の実施校数が少ないと。実際はこういう活動を活性化してどんどんやっっていこうと思うと、一つの商品が開発されて、廃れて腐って何かになっていくときのサイクルコストっていうのを普通メーカーで考えて、それでどれだけのものを投資するかということになるわけですね。だからこれは資源を大事にしようということもありますし、今はまさに環境問題も大きいわけですから、こういった基本的な大きな流れというものを、小学校で理解できるかどうかという問題はありますが、子どもさんに理解していただく「取組をしよう」というインテンションが働くのではないかと、そういうところは実際どうされているのかという疑問はありました。

その次の「身近な消防啓発の充実」についても、これはしょっちゅう台風がきて地震がきて、土砂災害とか、いろんなことが起こるわけですね。これがもっと大きな地震がくれば、火災も発生するわけです。そういったところで自分が生き延びていくためには、どうしなければいけないか。これも基本的な教育というか自分が生き残るために何をしたらいいか、地域社会のために何をしないといけないかという根本的なところの問題を理解してもらって取組方がだんだん変わってくるのではないかという気がします。

一番下の項目「公民館祭りの開催」ですけれども、これはBにした理由としては来場者数が減少したと、これだけ書かれています。実際はもっともっといろんなことがあると思います。こういったもののプランを実際作って、実行するというのは大変なことだと思うのですね。来場者数は減少したというのは、これはもしかしたら、今、日本が抱える少子高齢化だとかそういった構造的な問題が底辺にあってそれをしっかり見据えて取り組んでいかないと。それはただ来場者数が減少したということが、理由には上げられないのではないかと。取り組んでおられる人は大変だと思います。そういうことを掘り下げていただくと、もっと成果が上がるというか、市民のための活動成果になるのではないかと思います。

それからその次のページの上から2段目「生涯学習ボランティアの活用の推進」、登録が

1名で、辞退者が多いという。これももしかしたら、なるべくしてなっている状態があるかもしれないなど。この資料では詳しく書いてありませんから、実際のところはわかりません。2期の計画を立てられているときには、こういった方法が役に立つのではないかと思われただろうと思うのですが、実際にやってみると誤時代性が多いという、これは大きな事実を物語っているわけで、これは底辺に何か横たわっている問題を解決しないということにはならないのではないかと、その辺の突き詰めが、なされているかどうかという気がしません。

それからその下の「生涯学習情報提供システムの充実」の話、前回の審議会でも議論があったと思うのですが、このアクセス数が低調だというのは、実は今の世の中って、本当にニーズをもっていればこういうところにアクセスをして自分が豊かな人生を送るために実際、情報を求めにくるはずなんです。それがないということはこれもどこか根本的な問題が潜んでいるのではないかと。それは何だろうというのを資料から感じたことです。お答えは特にありません。今後何かの作業をされるうえで参考になればと申し上げました。以上です。

【小出副会長】

ありがとうございました。

はい。上條委員。

【上條委員】

只今のご指摘は大変重要であると思います。たぶん市全体のフレームに合わせた表現になっていると思います。ですから独自の分析をされることを提案いたします。例えば今の問題につきましては、なぜそうなのかということです。そのあたりをきちんと分析しないと改善につながっていかないと思います。そういった独自の分析をしていただくとよろしいと感じました。

それと、このフレームの改善にも関係してくるかと思いますが、一つ求めたいのは、部局別に配列して、例えば生涯学習・社会教育の部局はこういうことを実施している、それに対して他の部局では、例えば青少年を対象とした事業としてはこういうことを実施しているということが一瞥して分かるような整理をしていただきたいと思います。この場合、事業名だけの一覧表を作成して整理することも考えられます。そうすると、青少年対象の事業としては、このあたりが欠けているのではないかとということが見えてくる。また、これこれの事業については連携できるのではないかとということも見えてくると思います。もちろん主催事業だけではなく、地域のNPO等が行う事業を支援するといったことも含めて見ていただくと、もっと視野が広がるのではないかと。これからは住民の主体的な取組を支援していくことがますます重視されると思いますので、その辺も視野に入れて独自の分析をしていただくことを提案いたします。なお、今青少年を例に挙げましたが、青少年、成人、高齢者、それぞれの対象別にどうなのか、世代間の交流ということも大事な課題ですので、そういっ

た面でもどうなのかという分析をしていただくと、今後の取組に役立つと思います。

【小出副会長】

ありがとうございました。

事務局お願いします。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

お二方からのご提案ありがとうございます。

前向きに検討し、より良い計画に努めてまいりたいと思います。またご意見を聞くこともあるかと思しますので、そのときはどうぞよろしく願いいたします。

【小出副会長】

ありがとうございます。

他にご意見ある方おられませんか。

【小出副会長】

他にご意見がないようですので、次の議題に移ります。

「議題(2) その他」について、事務局説明をお願いします。

【事務局（蕨教育委員会参事）】

はい。それでは、「その他」といたしまして、3点ほどご説明いたします。

最初に、指定管理者の指定についてご報告いたします。

八千代市市民ギャラリー、八千代市立中央図書館、八千代市立勝田台図書館及び八千代市立緑が丘図書館の指定管理期間が、令和2年3月31日で終了することに伴い、令和7年3月31日までの次期指定管理者の募集を行うにあたり、8月8日に教育委員会所管施設指定管理者選考委員会を開催し、仕様書・募集要項・審査基準を決定いたしました。8月15日から9月27日まで募集を行いましたところ、1社から申請書の提出がありました。10月25日に2回目の教育委員会所管施設指定管理者選考委員会を開催し、申請者からのプレゼンテーション及び質疑応答そして審査基準による審査を行いました。結果、全委員が適格であると認められる基準を超えておりましたので、オーエンス・TRCグループを、八千代市市民ギャラリー、八千代市立中央図書館、八千代市立勝田台図書館及び八千代市立緑が丘図書館の指定管理者候補として選定し、令和元年12月の市議会第4回定例会において議決をいただきました。現在、協定書の締結に向け準備を進めているところでございます。

続きまして、成年年齢引下げに伴う八千代市の成人式対象年齢の決定についてご報告いたします。

平成30年6月に民法の一部を改正する法律が成立し、現在「20歳」と定められている

成年年齢が、令和4年4月1日から「18歳」に定められるという法改正が行われたことにより、現在「20歳」で行っている成人式の対象年齢について検討してまいりました。

令和元年8月6日に開催しました青少年問題協議会において、委員の皆さまからいただきましたご意見を参考に検討を進めてまいりました結果、「18歳は主に高校生で進路の決定時期であることから、成人式に参加することは困難である」という理由から、本市においては当該年度内に「20歳」となる者を対象年齢とすることで決定し、令和2年1月の記者会見等で発表いたしました。

続きまして、次期「生涯学習基本構想」・「生涯学習推進計画」の策定について説明をさせていただきます。

第2次八千代市生涯学習基本構想（クリーム色の冊子）の2ページをご覧ください。

真ん中より下に「第2次八千代市生涯学習基本構想の位置づけ」の図がございます。

八千代市第4次総合計画は、本市のまちづくりを進めるうえで、総合的な行政運営の指針とするものであり、この総合計画に沿って、生涯学習を推進するための方針として、基本構想を策定し、基本構想の実現にあたっては、生涯学習に関する施策を体系的に示した生涯学習推進計画を策定し、生涯学習行政の推進を図っております。

第2次八千代市生涯学習基本構想は第4次総合計画の策定と合わせ、平成22年10月に、対象期間を平成23年度から令和2年度までの10年として策定いたしました。この基本構想に基づき、第1期生涯学習推進計画が平成23年3月に、第2期生涯学習推進計画が平成28年3月に、それぞれ5年を計画期間として策定いたしました。第2次生涯学習基本構想・第2期生涯学習推進計画ともに令和2年度で計画期間の終了を迎えます。なお、八千代市第4次総合計画につきましても、令和2年度に計画期間の終了を迎えることから、昨年12月には八千代市第5次総合計画策定基本方針が策定され、八千代市第5次総合計画策定にむけて取り組んでおります。

今年度につきましては、生涯学習の現状や市民ニーズを把握し、次期基本構想策定のための基礎資料として活用することを目的として、生涯学習関係施設等利用者を対象に「生涯学習に関するアンケート調査」を行いました。

次期生涯学習基本構想・生涯学習推進計画につきましては、策定時の庁内体制として、副市長を本部長とした生涯学習推進本部と、推進本部に置かれる教育次長を会長とした幹事会で策定に向けて調整を進めていくところでございます。八千代市第5次総合計画と整合性を図りながら、次期生涯学習基本構想・生涯学習推進計画の策定作業に取り組んでまいります。生涯学習審議会は、市長の諮問機関として、ご審議いただくこととなりますので、先ほどお話しました生涯学習に関するアンケート調査についても資料として提供させていただきます。来年度につきましても、ご協力をお願い申し上げます。

説明は以上となります。

【小出副会長】

ありがとうございました。

ご意見はありますか。

— 意見なし —

【小出副会長】

それでは以上をもちまして、令和元年度八千代市生涯学習審議会を終了いたします。

議事の進行にご協力いただき、ありがとうございました。

[午前11時9分閉会]